

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【公表番号】特表 2020-504335 (P2020-504335A)
 【公表日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-005
 【出願番号】特願 2019-538260 (P2019-538260)
 【国際特許分類】

G 1 0 D 13/10 (2020.01)

G 1 0 H 1/00 (2006.01)

G 1 0 D 13/063 (2020.01)

【F I】

G 1 0 D 13/00 2 3 0

G 1 0 H 1/00 A

G 1 0 D 13/06 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 16 日 (2020.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非円形のカットアウトを含むカバーを備え、
前記カットアウトは 2 つの平坦なエッジを含み、
前記カバーに当接するストッパを更に備え、前記ストッパは、前記カバーのカットアウトの平坦なエッジの各々に当接する 2 つの平坦なエッジを備えている、
 電子シンバルアセンブリ。

【請求項 2】

シンバルキャリアを更に備え；
 前記ストッパは、少なくとも 2 つの平坦なエッジを含むストッパのカットアウトを規定するように形成され；
 前記シンバルキャリアは、前記ストッパのカットアウトから突出する少なくとも 1 つの部分
 を備え；
 前記シンバルキャリアの前記部分は、前記ストッパのカットアウトの平坦なエッジに当
 接する 2 つの平坦なエッジを備えている、
 請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 3】

前記ストッパ上にワッシャを更に備え、前記ワッシャは少なくとも 2 つの平坦なエッジ
 を含むワッシャのカットアウトを規定するように形成され、前記ワッシャのカットアウト
 の平坦なエッジは前記シンバルキャリアの平坦なエッジに当接する、請求項 2 に記載の電
 子シンバルアセンブリ。

【請求項 4】

ベルを規定するように形成されたフレームと；
 前記ベル上の非平面センサであって、前記ベル上の第 1 のセンサ部分と前記ベル上の第
2 のセンサ部分とを備え、前記第 1 のセンサ部分は前記第 2 のセンサ部分とは異なってい
る非平面センサと；

を備え、

前記センサは、実質的に環状の形状を規定する、電子シンバルアセンブリ。

【請求項 5】

前記第 1 のセンサ部分は、第 2 のセンサ部分の第 1 のエッジと重なる第 1 のセンサ部分の第 1 のエッジを含む、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 6】

前記第 1 のセンサ部分は、第 2 のセンサ部分の第 1 のエッジに当接する第 1 のセンサ部分の第 1 のエッジを含む、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 7】

前記第 1 のセンサ部分は、第 2 のセンサ部分の第 1 のエッジに近接しているが接触していない第 1 のセンサ部分の第 1 のエッジを含む、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 8】

前記第 1 のセンサ部分は、第 2 のセンサ部分の第 2 のエッジに近接しているが接触していない第 1 のセンサ部分の第 2 のエッジを含む、請求項 7 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 9】

前記センサは、周囲が 270° 以上 360° 未満である、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 10】

前記センサは、周囲が 330° 以上 360° 未満である、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 11】

前記フレームのエッジに非平面状のエッジセンサを更に備え、前記エッジセンサは第 1 のエッジセンサ部分と第 2 のエッジセンサ部分とを備え、前記第 1 のエッジセンサ部分は前記第 2 のエッジセンサ部分とは異なっている、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 12】

前記センサは外側エッジと内側エッジとを備え、前記センサは前記外側エッジから前記内側エッジへと上昇するにつれて湾曲している、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 13】

前記センサは外側エッジと内側エッジとを備え、前記センサは前記外側エッジから前記内側エッジへと上昇するにつれて平坦であり、それによって実質的に円錐台形である、請求項 4 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 14】

前記ストッパは柔軟である、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 15】

前記ストッパはフォームである、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 16】

前記非円形のカットアウトの前記 2 つの平坦なエッジは、規則的な多角形状の一部である、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 17】

前記非円形のカットアウトの前記 2 つの平坦なエッジは、不規則な多角形状の一部である、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 18】

前記非円形のカットアウトの前記 2 つの平坦なエッジは、星形状の一部である、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 19】

前記非円形のカットアウトは少なくとも第 3 の平坦なエッジを更に含み、前記ストッパ

は、前記非円形のカットアウトの前記第 3 の平坦なエッジに当接する第 3 の平坦なエッジを備えている、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 2 0】

前記非円形のカットアウトと前記ストッパとは実質的に同一の形状である、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 2 1】

前記非円形のカットアウトは、少なくとも 1 つの湾曲したエッジを更に含んでいる、請求項 1 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 2 2】

ベルを規定するように形成されたフレームと；

前記ベル上の非平面センサであって、前記センサは実質的に環状の形状を規定し、前記センサの外側エッジから前記センサの内側エッジまで上昇している非平面センサと；
を備え、

前記センサは、周囲が 1 8 0 ° 以上 3 6 0 ° 未満である、電子シンバルアセンブリ。

【請求項 2 3】

前記センサは、少なくとも第 1 のエッジ及び第 2 のエッジを更に備え、前記第 1 のエッジは、前記第 2 のエッジに近接しているが接触していない、請求項 2 2 に記載の電子シンバルアセンブリ。

【請求項 2 4】

前記センサは、周囲が 2 7 0 ° 以上 3 6 0 ° 未満である、請求項 2 2 に記載の電子シンバルアセンブリ。